

夢をかなえる言葉

夢見ることができれば、それは実現できる。

If you can dream it, you can do it.

ウォルト・ディズニー（米国のエンターテイナー、実業家 / 1901～1966）



## ☆ゴールデンウィーク中の課題☆ ☆今週の週末課題☆

国語：「精選漢文」

第3章 用字編（P106～P199）

① 基本重要語～

①③ 副詞として重ねて読む語

英語：スクランブルテスト

661番～776番

※英語は連休明けにテストを行います。

※国語の課題の提出は5月11日（月）です。



国語：「プログレス現代文発展編」

③ 小説「裸の王様」

④ 評論「コミュニケーションという方法論」

※国語の課題の提出は5月11日（月）です。



「緊急事態宣言」が全国に拡大されて、学校はまた2週間の休みに。次に登校するのは5月7日ね。外出しないように身体に気を付けて！（レイ）

## ☆来週の行事と時間割☆

| 日  | 曜 | 行事等<br>①②は、1校時2校時を表します。 | ★時間割をメモしよう |   |   |   |   |   |             |
|----|---|-------------------------|------------|---|---|---|---|---|-------------|
|    |   |                         | ①          | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦           |
| 25 | 土 | 全統共通テスト模試①。公務員模試②→中止！   |            |   |   |   |   |   |             |
| 26 | 日 |                         |            |   |   |   |   |   |             |
| 27 | 月 | 臨時休校                    |            |   |   |   |   |   |             |
| 28 | 火 | 臨時休校、大学進学指導保護者説明会→中止！   |            |   |   |   |   |   |             |
| 29 | 水 | 昭和の日                    |            |   |   |   |   |   |             |
| 30 | 木 | 分散登校（出席番号奇数の生徒）         | 4時間        |   |   |   |   |   |             |
| 1  | 金 | 分散登校（出席番号偶数の生徒）         | 4時間        |   |   |   |   |   |             |
| 2  | 土 |                         |            |   |   |   |   |   |             |
| 3  | 日 | 憲法記念日                   |            |   |   |   |   |   |             |
| 4  | 月 | みどりの日                   |            |   |   |   |   |   |             |
| 5  | 火 | こどもの日                   |            |   |   |   |   |   |             |
| 6  | 水 | 振替休日                    |            |   |   |   |   |   |             |
| 7  | 木 | ①～⑥授業、⑦LHR（生徒総会議案書審議）   | 7時間<br>日課  |   |   |   |   |   | L<br>H<br>R |
| 8  | 金 | ①～⑥授業、英語スクランブルテスト       | 6時間        |   |   |   |   |   |             |
| 9  | 土 | 全統記述模試①→中止！             |            |   |   |   |   |   |             |



ホームページで連絡した通り、4月30日（木）と5月1日（金）の2日間、分散登校を行います。時間割はホームページに記載していますので、確認して下さい。2日間とも、午前4時間の日程です。体調管理に気を付けて過ごして下さい。（文責森静）



# 礼

## 第3年次 年次通信

第4号 令和2年 4月24日 (金)

### 絶望してはいけない！未来は必ず開かれると信じて



コロナウ  
イルスとの  
先が見えな  
い戦いが続  
いていま

#### 3年次の目標

- 1 個々の能力・適性を伸ばし、進路実現を図る。
- 2 最高年次としての自覚を持ち、自主的・自立的な行動を行う。
- 3 学習環境を整備し、向学心を抱き、集団として学び、高め合う。

す。再開した学校も20日(月)から5月6日(水)まで、再び臨時休校になってしまいました。感染者も死者も増え続け、経済活動に与える影響も深刻さを増しています。

3年生のみんなは、来年卒業を迎えます。受験も進路も見えない中、不安で胸がいっぱいになっているのではないのでしょうか。思えば私たち人類の歴史は感染症との戦いでした。ペストや黒死病、コレラや結核など、過去にも多くの人が亡くなっています。そして今、私たちは新型コロナウイルスと戦っています。このウイルスは身体の壁が脂肪でできていて、石鹸での手洗いが非常に有効です。また、ウイルスは寄生しないと生きていけず、接触を80%減らすことによってどんどん死んでいくそうです。今は、**家にいてウイルスと戦いましょう。**ウイルスに打ち勝てば必ず未来は開かれます。希望を持って！

### ☆HR役員決定！クラスのリーダーとして責任を果たそう☆

| 組  | 代議員            | 文化委員           | 体育委員           | 生活委員           | 保健委員           | 選管委員  | 図書委員  |
|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|
| 1組 | 中井 櫻<br>渡辺 百華  | 石田 祐斗<br>種田 夢  | 大立目望円<br>見角 岳  | 小林 亮太<br>土屋 璃奈 | 田口 駿吾<br>武市 晴  | 齊藤 愛奈 | 奥山友加里 |
| 2組 | 下野 聖奈<br>水島 康貴 | 塚本 綾<br>長谷川桜花  | 佐々木麻友<br>本田 柊人 | 甲斐 達朗<br>山田 時斗 | 川邊 れん<br>算用子樹里 | 菅林 澄花 | 田中 萌夏 |
| 3組 | 伊藤晃太郎<br>伊藤 里汐 | 葛西 彩瑛<br>柴田 直紀 | 菊地 太一<br>佐々 結奏 | 有田 拓矢<br>東山 茉以 | 小野 愛音<br>鈴木 暢人 | 澤田 竜暉 | 村上蒼太郎 |
| 4組 | 新谷 旭<br>山本 由奈  | 丸田 浩暉<br>木村 芽衣 | 薄 優太<br>石黒 梨奈  | 大西 乃音<br>丹 夢月  | 千葉 香弥<br>和田 希星 | 井上 奈生 | 林元 万依 |
| 5組 | 布施 彩花<br>水田 帆南 | 三浦 瞬斗<br>吉岡 駿祐 | 谷 悠光<br>新村 百合  | 小松 佑豪<br>富樫 優斗 | 上家 優弥<br>横山 宗汰 | 丸谷 侑大 | 越湖 祐貴 |
| 6組 | 鈴江 薫<br>津島 萌唯  | 井川陽代里<br>新井田未来 | 乾 大城<br>田中 優花  | 今井 暖<br>小原 優月  | 三上 慶太<br>柳谷 拓  | 小笠原幸男 | 石田なつみ |
| 7組 | 鈴木 陽菜<br>千葉 瑞生 | 出川 奏楽<br>西田 裕樹 | 倉本 佳洋<br>阿部 玖音 | 藤 悠人<br>源田 瑛都  | 木村 広大<br>糸田 彩香 | 木田 悠真 | 久保田実桜 |

# 新しく3年次団に加わった先生方からみんなへの、 自己紹介と3年生へのメッセージ～第2弾

新しく3年次団に加わった先生方からの、自己紹介と3年生へのメッセージ、第2弾を紹介します。

## 年次付 里 知十世 先生

（自己紹介）初めまして。この春異動してきました、里（さと）といいます。よろしくお願いします。

私は、こんな人なんですと説明をするなら、  
特技はありませんが、人の名前と顔を覚えるのが、ほぼ無理です。



興味・関心が薄く、飽きっぽいので、どんなことも長続きせず、コレだ！とのめり込むような趣味はありません。

ほかの先生方のように、教科や部活動で皆さんとたくさんの時間を過ごすことはないですが、『誰でもいいから話を聞いてほしいの』って時には、思い出してくださいね。適切なアドバイスはできないと思いますが、話ぐらいいは聞きますよ。

（メッセージ）いよいよ、3年生ですね。1度きりの高校生活、最後の年は、どんな風に過ごしますか？

折角の機会ですから、色んな事に挑戦して、心を奮わせるような、素敵な1年になるよう祈っています。



## 年次付 石田 晃 先生



1957年4月20日生まれ、来週63歳になります。凌雲3年＋永嶺5年になります。定年退職後の再任用で勤務しています。今年度はハーフ勤務なので火曜日・水曜日と金曜日の午前中しかいないので、承知しておいてください。趣味はダリアの花を咲かせることです。秋には色とりどりのダリアで校内を明るくしたいと思っています。

ます。

3年生の大切な進路決定に、少しでも力になれるように頑張ります。自分の将来を託す進路決定に、安易な妥協やあきらめがあってはなりません。最後の一瞬まで最大限の努力をしましょう。

## 3年4組 副担任 山田 温隆 先生 「卒業生からの手紙」

卒業生から手紙が来た。彼女からの手紙はこれで4通目となる。

彼女は看護師を目指し日赤の看護大学に進学した。進学後間もなく大学生活や一人暮らしになかなか馴染めず1通目の手紙が来た。病院実習が始まった3年生の時に、患者とのコミュニケーションがうまく取れず2通目が来た。そして旭川日赤病院に就職が決まり、ICUに配属され、理想と現実のギャップに思い悩み3通目がきた。

4通目は、ようやくICUでの勤務に慣れ、一人前の看護師としてやっていく自信が付いた矢先の配置換えで、またゼロからのやり直しになってしまったこと。病棟によって扱う患者も違えば、やり方も違うことへの戸惑いが主な内容だった。

「悩む」ことは真剣に考えたことの証である。そして、一歩前へ進もうとする強い意志の表れでもある。



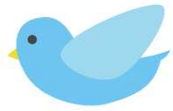
今まで、多くのことに悩み、多くの挫折を経験した。その時時に、様々な言葉が私を勇気づけてくれた。

「飛翔の前の一屈」

「努力は人を裏切らない」







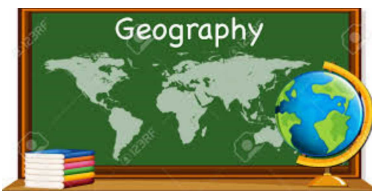
「夢は逃げていかない。自分が夢から逃げていくのだ」  
「高い山に登ろうと思った一歩と、そうではない一歩には大きな違いがある」  
「意志あるところに道がある」  
「信念の力」「だめだ」と思えばだめになる 勝負は力のある者が勝つのではない  
「勝とう」とする者が勝ち残る」等々。  
彼女の手紙はこう結ばれていた。

「高校はどうですか？また受験の季節で忙しいのでしょうかね。今思うと、将来に悩むことも多いけれど、色々な可能性があっとうらやましいです。」

さあ、可能性に向かって  
「翔べるときに、翔べ！」



### 3年3組 副担任 山下 一也 先生



現在、皆さんと地理の授業をしています。元々海外に興味をもっていた私は、将来は貿易に関わる仕事をしたいと漠然と考えていたもので、大学は経済学科に進みました。当時は自分が学校の教員になることなど全く考えていなかったため、当然ながら教員免許も取らずに卒業しました。幸い、大学卒業後は念願となって貿易業務に携わる仕事に就くことができましたが、入社してみると民間企業の良い面や悪い面が様々見えてきて、どうも自分には向いていないと考え始めました。そして、ちょうどその頃、深田祐介さんという直木賞作家の講演を聴く機会がありました。特に期待もせずに行ったのですが、聴いてみるとその話の面白さにとても感動しました（話の内容は残念ながら忘れてしまいましたが…）。

すぐに影響されてしまう私は、それから自分も人に話をする仕事がしたいと思い始め、教員という職業が私の選択肢の一つとして出てきました。しかし、教員免許に関する単位は全く取得していなかったため、取り敢えず通信制大学の地理学科に編入しました。そして、週に1～2回、会社が終わった後の夜間、大学に行って講義を受けるという生活が4年ほど続き、ようやく高校社会の免許を手にすることができました。結局、教員になるまでに2つの大学を卒業し、10年ほど民間企業にお世話になるという回り道をする事になりました。よって、もしこれから就職をしたいと考えている人がいれば、多少なりともアドバイスできるのではないかと思います。



ところで、企業の新入社員研修などでは、「ノミの実験」という話がよく出てきます。ノミの大きさはわずか1 mm ～3 mm しかないにもかかわらず、2mもジャンプする力があるらしいのです。これは人間に例えると、身長170 cm の人が1,700mもジャンプすることに相当し、東京スカイツリー（634m）はもちろんのこと、そこらへんの山なら軽く飛び越えられるジャンプ力です。でも、そんなすごい跳躍力をもつノミを高さ50 cm のピーカーに入れてフタをするとどうなると思いますか。ノミはジャンプすると毎回フタに頭をぶつけるので、ノミも学習して頭をぶつけないように跳ぶのです。そして次に、ピーカーのフタをはずすとどうなるか。そうです、ノミはフタが開いているにもかかわらず50 cm しか跳ばなくなるのです。本当はもっと高く跳べるのに・・・。

さて、これを我々に置き換えてみると、多くの人は自分の可能性というものに対して自らフタをしていないでしょうか。本当はもっと跳べるはずなのに、やる前からあきらめてはいないでしょうか。先日テレビでこんな番組をやっていました。中学3年の時の偏差値35だった人が一念発起して猛烈に努力し、ついには東大に合格したという話です。もちろん、これはテレビ番組で取り上げられるほどのまれなケースかもしれませんが、人間のもつ可能性の大きさについて改めて驚かされました。



もし何か目標や理想があるのなら、たった一度しかない人生、大人になってから後悔しないためにも、自ら「心理的限界」を決めてしまうことなく、今こそ自分のもつ能力を最大限に発揮してみてもうでしょうか。そうすれば、自ずと道は開けると思います。／最後に、今年度3年次という高校生活の集大成の年に、皆さんと一緒に過ごしていけることを、とても光栄に思います。宜しくお願いします。